

圏 域	取り組みの方針	具体的な施策（H21～23年度）
<p>【出雲圏域】 観光素材の「強み」を活かした誘客の推進</p> <p>【課題】 ○「縁結び」「神話」「日本文化」など、テーマ性をもった観光素材の情報発信の強化や、効果的な活用</p> <p>○着地型旅行商品の開発～情報発信～販売体制の構築</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマ性をもった観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・「神話」をテーマとした観光ブランドの創出 ・「縁結び」をテーマとした旅行商品企画・販売の促進 ・伝統文化を生かした茶、和菓子等の観光商品化 2. 認知度を活かした効果的な情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・認知度の高い素材を活用した効果的な情報発信による「観光島根」のPR ・旅行希望者の情報収集環境を向上させ、この地域への訪問検討の機会をさらに増やす。 3. 着地型旅行商品等の開発・販売の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・旅行者のニーズに合った情報提供～販売出来るよう、着地型旅行商品等を総合的に取り扱うシステム構築を支援する。 ・旅行目的地として選択される可能性を増やすため、食材や生活文化など、素朴な地域素材を活かした観光商品開発を促進する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマ性をもった観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> 「神話の国・縁結び観光協会」事業への支援・助成 ・出雲大社と地域の観光素材を活用した全国向け情報発信 [H21～] ・首都圏での「出雲路講座」の開催 [H18～] 2. 情報発信、プロモーション活動の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・<u>圏域の核となる松江や出雲大社大遷宮を活用した情報発信・誘客の強化 [H21～]</u> ・県観光連盟と連携し、この圏域を中心とした島根の観光魅力について大都市部の旅行会社等を中心に宣伝活動を行う。 3. 着地型旅行商品等の開発・販売の促進 <ol style="list-style-type: none"> ① 「山陰文化観光圏」整備事業の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・観光関連団体と連携した地元発の旅行商品を総合的・広域的に取り扱うモデルシステムづくりを支援する。 [H21～] ② 食材を活かした旅行プログラムづくりへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・総合支援プログラム [H21～]
<p>【石見圏域】 魅力的な観光地づくりと認知度の向上</p> <p>【課題】 ○出雲、隠岐と比べて低い認知度の向上 ○通過型・日帰り型観光地（宿泊客が少ない）から滞在型観光への取り組み強化</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広域観光ルートの確立 <ul style="list-style-type: none"> ・石見銀山、アクアス、津和野を核とした浜田自動車道・道9号線の広域観光ルートの整備促進 ・出雲圏域、山陰文化観光圏、広島県、山口県との連携による滞在型観光地づくりの促進 2. 「石見神楽」等、地域の観光素材の活用 <ul style="list-style-type: none"> 石見神楽定期公演の実施や、地域の観光素材をテーマにした旅行商品の売り込み強化 3. 「なつかしの国 石見」による地域イメージの確立・発信 <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチフレーズ「なつかしの国石見」イメージの定着促進 ・おもてなし機運の醸成 4. 個人旅行者に優しいまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ窓口一本化の検討など個人客対応のきめ細やかな情報発信 5. 萩・石見空港を活用した誘客の促進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広域観光ルートの確立 <ol style="list-style-type: none"> ① 石見銀山、アクアス等、観光地間の情報の共有化と連携の促進。広域的な観光ルートの開発。 ② 近隣県等との連携による周遊ルートの策定 <ul style="list-style-type: none"> ・益田・津和野圏域 … 「萩・石見空港」を活用した「萩、長門、山口」ルートとの連携を図りながら、首都圏や関西圏からの誘客を促進 ③ JR西日本との連携によるルートづくり [H21] 2. 「石見神楽」等の地域の観光素材の活用 <ol style="list-style-type: none"> ① 「夜神楽」の実施など、石見神楽を核とした定期的な観光キャンペーンの実施 ② 高津川、柿本人麻呂、雪舟など、地域の素材を活用した旅行商品造成 3. 「なつかしの国 石見」による地域イメージの確立、発信 <ol style="list-style-type: none"> ① ホームページ「ALLいわみ」による広域的情報発信 ② 季刊誌の発行やフォトコンテスト、石見講座等の開催 4. 個人客に優しいまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・地域の観光協会や各施設が情報の共有化を図ることの出来る仕組みについて検討 5. <u>萩・石見空港を活用した誘客の促進 [H21～]</u> <ul style="list-style-type: none"> ・「石見にふれて学ぶツアー」の開催など旅行商品造成の支援

圏 域

【石見圏域】 魅力的な観光地づくり と認知度の向上

取り組みの方針

6. 「海」と「山」の豊富な食材を活かした「食」による魅力向上
 - ・旅館、ホテル、飲食店などの観光事業者と農林水産物生産者、JA、JF等の連携強化による「食」でのモチベーションの推進
7. 観光の担い手づくり(観光ガイドの育成・活用)
 - ・既存観光ガイド団体の機能充実を支援

具体的な施策（H21～23年度）

6. 「食」による魅力の向上
 - ① 郷土料理、地元の旬の素材にこだわった食を提供するホテル、旅館等への支援
 - ② 食に関する研修、講習会の開催 [H20～]
7. 観光の担い手づくり
 - ガイド機能の充実による観光客の満足度の向上
 - ・ガイド団体等の意見交換の場の提供
 - ・ホームページ等による積極的な紹介 等

【隠岐圏域】

情報発信、案内機能の 充実・強化や隠岐島の 新鮮な食材等による サービスの提供

1. 情報発信、案内機能の充実・強化
 - ・総合案内窓口機能の体制強化・充実
 - ・ホームページの見直し・充実
 - ・本土との連携強化による誘客体制の充実
 - ・ターゲットを絞った観光客誘致
2. 隠岐製品の開発・販路開拓の強化
 - ・新鮮な食材や固有産品を活用した「隠岐らしさ」を感じることを出来る食事や土産物の提供
 - ・看板料理や土産物の開発・販売の促進
3. 住民、観光事業者の意識向上、人材育成の促進
 - ・観光産業についての理解促進
 - ・教育旅行の積極的な受け入れ

【課題】

- ・繁忙期における観光案内体制の強化
- ・隠岐の産品の魅力向上

4. 隠岐空港を活用した誘客の促進

1. 情報発信、案内機能の充実・強化 [H21～]

- ① ワンストップで隠岐全体の観光案内に対応できるよう、隠岐ツアーセンターの体制強化支援 [H21]
- ② 隠岐観光用ホームページ充実への助成 [H21]
- ③ 町歩きマップの作成 [H21]
- ③ 「山陰文化観光圏」整備事業を活用した本土との連携強化支援 [H21～H24]
- ④ 旅行会社等受け入れ事業への助成 [H21]

2. 隠岐製品の開発・販路開拓の強化 [H21]

- ① 商業団体等が行う商品試作からテスト販売に対する助成
- ② 営業研修等の実施やコーディネーターの派遣
- ③ シンポジウムやセミナー開催への支援
- ④ 大都市圏での物産・観光展の共催
- ⑤ インターネット販売の促進や新商品試作などの販路開拓に対する助成

3. 住民、観光事業者の意識向上、人材育成の促進

- ① 観光シンポジウムの開催、支援
- ② 観光事業者自身によるサービス向上のための自己診断の実施促進

4. 隠岐空港を活用した誘客の促進 [H21～]

- ・島の秋イベントや伝統芸能を活用した旅行商品造成支援